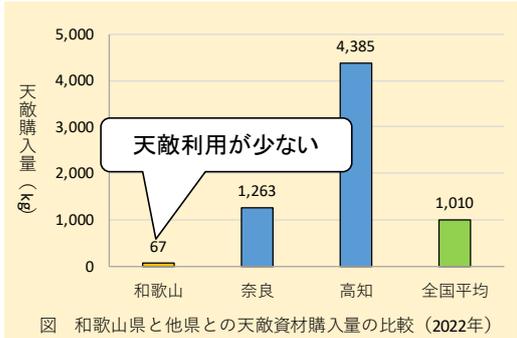


# 在来天敵タバコカスミカメ活用への取組

和歌山県農業試験場

天敵を利用した総合防除が全国的に進められているが、本県では導入コストが高い等の理由で利用が進んでいない。近年、高知県等天敵利用先進県では在来天敵のタバコカスミカメを現地で誘引植物により捕獲・増殖し、低コストに利用している。そこで、本県においてもタバコカスミカメが生息し、誘引植物を用いて捕獲・増殖できるか確認するとともに施、設栽培ピーマンで利用可能か検討した。



## タバコカスミカメ

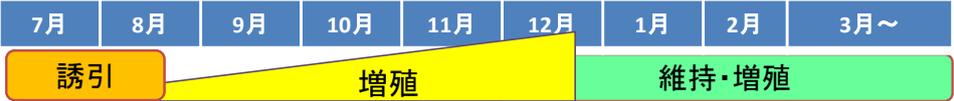


- ・西南暖地では土着天敵として利用
- ・市販されているがピーマンには適用がない
- ・害虫の捕食能力が高い

○捕食対象害虫  
アザミウマ類  
タバココナジラミ



## ○施設栽培ピーマンへのタバコカスミカメ導入の流れ



### 天敵誘引植物



### 集めて増やして放虫



## ①生息場所

誘引植物を植えタバコカスミカメの発生の有無を調査  
調査時期: 2023年7月～、2024年6、7月～  
>結果: すべての調査地点でタバコカスミカメの発生が確認された。



図 タバコカスミカメの発生が確認された市町村

## ②誘引植物上での増殖の確認

ピーマン産地にゴマ、クレオメを植えタバコカスミカメの誘引開始時期と増殖状況を調査  
>結果: 2023年は8月から、2024年は7月から誘引が確認された。  
ゴマ、クレオメともに増殖を確認、クレオメでは12月まで利用可能  
問題点: 誘引植物の生育不良が発生→栽培管理技術の確立が必要  
ピーマンを加害する害虫も誘引された。→害虫対策が必要



図 ゴマにおけるタバコカスミカメの発生推移 (御坊市、2023)  
※9月下旬に枯死したため、新しい株を定植した

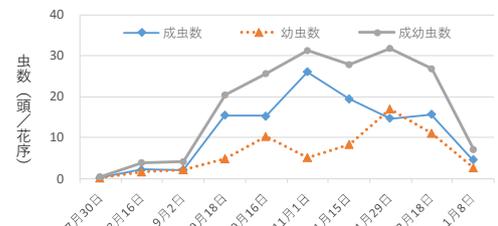


図 クレオメにおけるタバコカスミカメの発生推移 (御坊市、2024)

## ③現地放飼ほ場調査

タバコカスミカメの放飼量が異なる施設栽培ピーマンほ場における天敵とアザミウマ類の生息花率を調査  
>結果: 少量放飼区=タバコカスミカメではアザミウマ類の生息花率を減らすことができなかった。  
多量放飼区=タバコカスミカメとスワルスキーカブリダニにより、アザミウマ類の生息花率を低く維持することができた。  
問題点: タバコカスミカメの適正放飼量が不明→防除効果が得られる放飼量の検討が必要

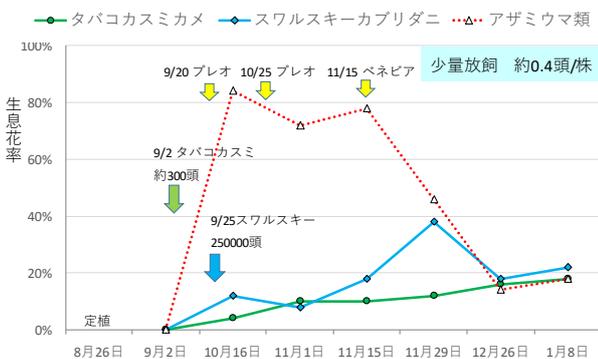


図 天敵類とアザミウマ類の生息花率の推移 (①少量放飼区)

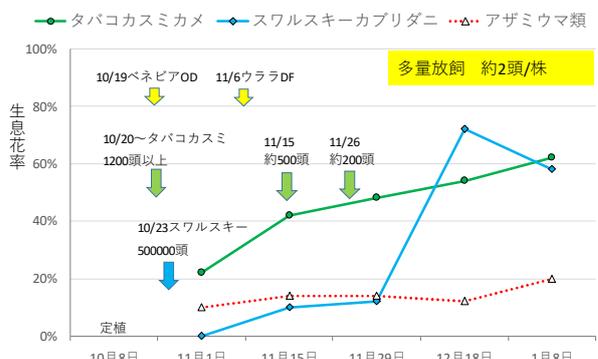


図 天敵類とアザミウマ類の生息花率の推移 (②多量放飼区)

## まとめ

本県においてタバコカスミカメをゴマやクレオメで誘引・増殖し、施設栽培ピーマンで利用することは可能と考えられた。しかし、安定した利用には誘引植物の管理技術の確立やタバコカスミカメの放飼量の解明等が必要であるため試験を継続する予定である。